

令和5年度 第1回 上下水道事業運営審議会

1 開催日時

令和5年6月20日(火) 15時00分～17時00分

2 開催場所

柏市千代田1丁目2番32号

柏市上下水道局庁舎 4階 401・402会議室

3 出席者

(1) 委員

落合委員, 堀田委員, 佐藤委員, 谷委員, 宮田委員, 石井委員, 小暮委員, 齊藤委員, 廣瀬委員, 増田委員, 秋田委員, 石田委員, 白石委員, 杵富委員

(2) 事務局

成嶋上下水道事業管理者, 内田理事, 須藤総務課長, 野口経営企画課長, 小池料金課長, 小池給排水課長, 新井水道工務課長, 松崎下水道工務課長, 深山施設管理課長 他

4 議題

- (1) 令和5年度柏市水道事業会計及び下水道事業会計に関する予算と主要事業について

5 報告事項

- (1) 上下水道局における広報・啓発活動について

6 議事

議題 (1) 令和5年度柏市水道事業会計及び下水道事業会計に関する予算と主要事業について

質疑 (宮田委員), 回答 (事務局)

Q. 危機管理体制の強化について, 災害対応支援車両を購入したとあるが, 具体的にはどのようなものなのか。

A. 給水車で他市に応援に行くことがあるが, 給水車には2人しか乗れず, 交

代要員や水を配る要員を乗せることができない。7人乗り，四輪駆動，ハイブリットの車両，と担当課から要望があったため，ステップワゴンの四輪駆動でハイブリットの車両を今年6月に購入した。令和4年度からの繰越予算として，今年度執行したものである。

質疑（佐藤委員），回答（事務局）

Q. 何%か水道に繋がってないかたがいらっしゃるとのことだが，これはどのような状況なのか。

A. 水道の普及率から外れているかたについて，井戸や専用水道を使っているかたがいる。一番大きいのは豊四季にあるURの団地で，水道ではなくURの浄水施設から水を引いているという状況である。

Q. そのような場合，市の水道事業との連携や，情報交換などはしているのか。それとも市には全く関係のないものなのか。

A. 1番大きいのは豊四季のURの団地だが，そこにも柏市の水道管は入っている。今はまだ協議の途中だが，専用水道が老朽化してきているので，URの建て替えに合わせて，将来的には繋がっていくと思われる。

Q. 災害用トイレの整備について，市の災害対策の一環で行われているものだと思うが，これは市の一般会計から費用がもらえるという理解で良いか。

A. 市の災害対策本部とも連携しながら進めているが，軸は下水道事業である。国の交付金や，市の一般会計から繰入金をいただき，借金をしながら，その中で整備を進めている。

質疑（齊藤委員），回答（事務局）

Q. 水道事業で大規模修繕の話が出たが，これは主要事業に含まれているのか。

A. 含まれていない。具体的には，水源地に水をためる配水池という池の内部が防水塗装となっており，何年かに1回塗り直さなくてはならない。これが予算1億を超える大規模なものとなっている。

質疑（堀田委員），回答（事務局）

Q. 下水道事業予算の収益的収支について，収益が令和4年度と比べると微増しているが，内訳を教えてほしい。また，年間汚水量と有収水量が少し減り，収益が少し増えた理由を教えてほしい。

A. 下水道収益の主な増加要因は，一般会計から繰り入れている雨水処理に関する負担金の増加である。下水道使用料が若干上がり，有収水量が下がっている。

るが、これは大規模事業者の使用が増加したからだと考えている。

Q. 下水道事業の主要事業について、老朽化対策で6億7000万円を見込んでいると説明があった。包括委託の改築と市の直営の改築、両方あると思うが、内訳について教えてほしい。また、事業費や延長などについても、両者をどう切り分けているのかを教えてください。

A. 包括委託は、管更生と内面の更生で改良できるものに対応している。市の直営で対応する例としては、この前まで施行していた松葉町のような更生では対応できない改築工事や布設替え工事等がある。また、大津ヶ丘には、人孔がかなり傷んでるところがあり、こちらも更生では難しいため、市の直営で対応する予定。それらを含めて2億円ぐらいかかると考えている。包括の調査や、設計、改築工事などについては、残りの予算で行う。

質疑（落合委員）、回答（事務局）

Q. 水道と下水道の予算を説明していただいたが、柏市の事業にはどのような特徴があるのか。他市も同じような状況なのか。また、柏市はこれに力を入れているというものがあれば、説明いただきたい。

A. 水道について、老朽化した管路が多く、また、水源池施設も老朽化しているので、それらを改築していくことが主な事業となる。県内を見ても、南の方は経営としては厳しい状況があるが、柏市は比較的人口が多く増えてもいるので、事業が実施できている事業体なのではないかと捉えている。

下水道について、半分くらいは雨水だが、雨水整備は公費負担が原則である。使用料で賄うのではなく、皆さんの税金で災害に対して対応してくため、必要な料金や費用を、市から繰入金約27億円いただき整備している。残りは借金を返すことに充てており、経営としては少し十分ではない部分があると思うが、これは東葛飾内や他の事業体を見ても、同じように繰入金を入れているので、柏市が特段経営状態が悪いということではない。下水道の普及率はもう90%を超えているため、老朽化対策にお金をかけていかななくてはならないが、経営状態が少し厳しいことは下水道事業の特徴である。国から支援をいただきながら、民間へ包括委託するなど、他市に先駆けて、先進的な取り組みを行っている。平準的に維持管理できるような取り組みを始めていることなどは、柏市の特徴的な部分と捉えている。

Q. 下水道について、一般会計から繰り入れることは、どの市でもやっているとのことだが、柏としてはそれをなるべく少なくしていく方向性なのか。そ

れとも実態を考えると、これが今のところできる最大限であるという解釈で、基本的には今のように繰入金で賄っていく方針なのか。

A. 以前の下水道事業経営委員会でも議論してきたが、委員長のおっしゃる通り、基本的には料金で賄うべきものを、繰り入れているという状況である。これを解決するには、歳出を減らさなくてはならない。最終的には、使用料の値上げに繋がる部分なので、コロナの影響などもあり判断は難しいが、支出や収入を見極めながら、今後の方向性について決めていくという形になると思う。市の財政部局でも、繰入金については話題に挙げられているので、いずれは少し減らさざるを得ないだろうと考えている。

Q. 下水道使用料を上げれば良いという単純な話ではないので、委員会としても立場が難しい。市で方向性をしっかりと決めておいてほしい。

また、上水でも下水でも、不明水は徴収しないと思うが、これに対する調査費、あるいは何かの対策費という予算はつけているのか。不明水の対策は大事だと思っている。

A. 下水道について、これまでは管内へ煙を送ることで、管の繋がりがたを判断する送煙調査をやっていたが、効果が分かりにくかったので、今年度からは、新しい技術である音響調査を実施する。ボイスレコーダーをマンホール内に設置し、音を取ることで不明水の絞り込みを行う技術。絞り込みが終わったら、翌年度に光ファイバーで温度を測定し、場所を特定していく。隔年度ごとに実施していく予定で、今年度は音響調査の予算を取っている。

水道について、漏水の防止のため、毎年各ブロックごとに調査をしている。令和3年度は730万円で256kmの調査、令和4年度は965万円で350kmの調査を実施した。今年度も同程度の調査を予定している。5つあるブロックを、毎年一つずつ順番に漏水の調査を行い、漏水の減少に努めている。

報告事項 (1) 上下水道局における広報・啓発活動

質疑 (谷委員), 回答 (事務局)

Q. 市でも社会科見学を行っていると思うが、柏市の水道施設に見学に来る事はあるのか。また、どれくらい実施されているのか。

A. 学校の社会科見学で、北千葉の施設へ行くことがあるとは聞いているが、何校で実施しているのか等の詳細は把握していない。市の水道施設としては、第六水源地や第三水源地の近隣の小学校が過去に見学されたことはあるようだが、定例的に行っているものはない。

質疑（落合委員長），回答（事務局）

- Q. 今の谷委員の意見は、もし市でも見学を行っているなら、写真を撮ってホームページで公開する等のPRをしてみても、というアドバイスだったのではと思うがどうか。
- A. 記録用という意味も含めて、毎回写真は撮っている。イベント等を実施しました、または、していますということも、ご意見いただいた通り、プライバシーに配慮しながら、ホームページで公開していきたい。

質疑（宮田委員），回答（事務局）

- Q. ここに来る前に上下水道局のホームページを確認したが、検索しやすく、見やすくなったと思った。キッズページも面白いと思う。私も仕事で広報をしているが、広報の効果測定はなかなか難しいものである。リニューアル前と後で、ホームページのアクセス数の変化や、ページの閲覧数など把握しているようであれば教えてほしい。また、広報は継続してやってくことが大事だと思うので、引き続き検討して行ってほしい。
- A. アクセス数は把握できていないが、広報かしわ6月号で募集したご意見の中に、上下水道局のホームページが分かりやすく、見やすくなったという意見があった。また、キッズページを設けたことにより、学びの面からもホームページが使いやすいと、先生視点でのご意見を教育委員会からいただいた。効果としては良好であると認識している。

質疑（齊藤委員），回答（事務局）

- Q. 柏まつりの出展は4年ぶりということだが、前回と同じような形で実施するのか。
- A. クイズ企画やパネル展示、啓発品の配付を中心に実施する予定である。
- Q. 合格祈願でマンホールカードを無料で配布したとのことだが、配布数はどれくらいだったのか。こちらのイベントは市民のかたに広く知られているものなのか。
- A. 令和4年度は220枚配布した。他市でも、マンホールに関する啓発品やお守りのようなものを配布しており、柏市では令和元年度から行っているため、認知度も上がってきていると考えている。
- Q. 広報と関係ない話になってしまうが、令和5年2月、3月分の水道基本料金を免除していたと思うが、これの反響について聞きたい。

- A. 最初の1週間は35件程度の問い合わせだったが、その後は週に100件を超え、色々なご意見をいただいた。内容としては、検針票が分かりにくい、なぜ減免されたのか等で、ほとんどが制度についての問い合わせだった。反響としては、有難いというご意見が多く、好意的に捉えられたと考えている。

質疑（裕富委員）、回答（事務局）

- Q. 親子で浄水場見学は広報誌での募集、夏休み子ども教室は案内を各学校に配布するとのことだが、柏市の子どもたちは多いのに、定員が10組や16名と小規模になっている。4年ぶりの開催になるが、4年前はどの程度の募集数だったのか。

- A. 親子で浄水場見学について、令和元年度は子ども11名、保護者の方を含めて18名の方にご参加いただいた。募集人員は20名程度だったと思うが、抽選にはならなかった。今年度は小学生と保護者で大体20名としているが、バスの席数の都合上、人数を20名程度に設定した。

夏休み子ども教室について、チラシ作成、各小学校への配布、募集の受け付け、定員を超えた場合の抽選など、全て教育委員会で行っているため、募集数等の把握はできていないが、令和元年度は20名にご参加いただいた。前は青少年センターでの開催だったが、工事予定があるとのこと、今年度は柏市高田にある第六水源地の会議室で行う。会議室の大きさの都合上、テーブルで4つの島をつくり、各テーブルに4名で座っていただく予定のため、16名の募集となった。

意見（佐藤委員）

質問ではなく情報提供になるが、管路包括の委託先のJVさんが、出前講座をやっている。市の事業とは切り分けられているため、資料に載っていないのだと思うが、毎年結構な数の小学校へ出向き、下水道の仕組みなどの講義をしていると聞いている。

意見（石田委員）

旅行先の名古屋で上下水道の展示会に行った際に、全国のマンホールがずらりと並んでいるエリアを見学したが、マンホールのデザインは市の特徴を表している。全国にマンホールファンがいて、観光目的でマンホールを訪ねることもあるので、広く知ってもらうためのアピールとなる。マンホールカードは無料で配布するものなので大変だと思うが、世の中の波に乗るという意味でも、予算のある限り推進してほしい。

ホームページについて、スマホでも見やすいデザインとなっており、情報

にたどり着きやすいところがとても良いと思った。キッズページにいくつか記事があるが、柏市の水や水源、その周辺の環境のことなども学べるよう話題を広げ、柏市の子どもたちが柏の水に関心が持てるよう充実していくことを期待する。

また、蓮子ちゃんは手賀沼のハスの花の妖精だが、私の知る限りでは手賀沼のハスが全滅しているので、非常に懸念されているのではないかと。手賀沼のハスをキャラクターにしてアピールやPRをするなら、上下水道局の話ではないが環境問題ということで、我孫子市などとタイアップして手賀沼の環境復活にも力を入れていただきたい。ハスを復活させないと、蓮子ちゃんの将来が危ぶまれる。あと、好きなものが下水の処理水というのが、ちょっとシュールで笑いました。以上、感想を踏まえて、将来に期待しております。

全体を通して

質疑（白石委員）、回答（廣瀬委員）

Q. 昨年は松葉町や篠籠田の関連施設を見学させていただき、大変参考になった。県の施設の手賀沼終末処理場について、サイクリストの中で、大きい施設だけど中はどうなっているんだろうね、とよく話題に上がる。あの施設は、誰でも見学できるものなのか。

A. コロナが5類に移行した5月8日から手賀沼終末処理場の見学を再開しているので、ぜひお越しいただければと思う。

質疑（白石委員）、回答（事務局）

Q. 私は柏市に住んでいるが、近所で水道工事をよく見かける。私の家の前もいつかはやるだろうと思っているが、今年度や来年度や何年後かに、どの辺で工事をやるのかホームページで確認できるのか。

A. 工事の予定について、事前にお知らせすることはあまり出来ていない。工事箇所を選ぶにあたっては、一応優先順位は決まっているが、直前の他の工事や、路面の痛み具合などを見ながら、その時の状況に応じて工事場所を変えたりするので、事前にある程度先の工事予定をお知らせするのが難しい状況である。ただ、ホームページで現在行っている工事については情報を掲載しているので、今のところはこのような形での周知を継続したいと考えている。

質疑（齊藤委員）、回答（事務局）

Q. 規模が大きいので大変だと思うが、令和4年度の決算はいつ頃までに確定するのか。

A. 概算ではあるが、数字はほぼ固まっている。次回の審議会でお知らせできるように事務を進めていく。

意見（齊藤委員）

昨年度予算に対して、予定していた更新距離と実際の更新距離が違ったり、実施できたもの、できなかったものがあると思う。そんな中で、令和4年度と令和5年度の予算だけを比較するのは見方として違うと思うので、実績がある程度出ているなら、実績見込みも示してもらえたら非常に良いと思う。

意見（落合委員長）

今の意見は非常に大事な意見だと思う。確定した決算額は今後お示しいただけると思うが、令和4年度のある程度の実績も含めて説明いただけると良いと思うので、この意見を次回の説明の参考にしてほしい。

意見（佐藤委員）

柏市の水源として9つのダムが紹介されたが、水源としては北千葉導水路も大きな役割を果たしている。北千葉導水ビジターセンターでは、ダムカードも貰えるので、資料に加えていただければと思う。

7 傍聴

傍聴者なし